

ムクゲコノハ

クルミなど広葉樹の葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約90mm。6月と8月に発生する。体の中央背面に青く丸い斑紋がある。

クルミでは害虫とされる。



1. 幼虫，体長75mm。1989/7/13。美唄市，シラカンバ。

2. 雌成虫，体長30mm。1を飼育。

【学名】 *Logoptera juno*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， ヤガ科 (Noctuidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州，琉球；朝鮮半島，中国，台湾，インド。

【特徴】

幼虫の色彩は成長とともに多少変化し，同齢期でも濃淡に変異があるが，腹部5節の背面に青く円い斑紋を持つことにより，容易に認識できる。

【生態】

幼虫はコナラ，クヌギ，クリ，オニグルミ，サワグルミを食べるとされる（文献：1965，1987）。北海道ではシラカンバ，ベルコザカンバからも採れた。

成虫は4～9月に，幼虫は6月と8月に出現するとされる（文献：1958，1965，1982，1987）。越冬態は不明。

北海道の低地では終齢幼虫が7月に採れ，飼育下では7月中旬～8月中旬に成虫になったので，年1回の発生の可能性もある。

幼虫は日中，樹幹などに潜んでいるという。

【文献】

1958. 江崎悌三ほか. 原色日本蛾類図鑑（下）:I-V, 1-303, pls 65-136. 保育社，大阪。

1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社，東京。

1965. 一色周知監修. 原色日本蛾類幼虫図鑑 (上) : 1-238, pls 1-60. 保育社, 大阪.

1987. 杉敏郎編集. 日本産蛾類生態図鑑 : 1-453, pls 1-120. 講談社, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ムクゲコノハyaga/mukugeko/
kaisetuh.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1994/1/7-2001/11/5.

1yochu.jpg, 1seichu.jpg

「写真 1 ~ 2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1989.